

種目名	家庭	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	東京書籍
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	開隆堂
1 学習指導要領との関連		<ul style="list-style-type: none"> ・各大題材の初めに「家庭科の窓」を設置し、生活に係る見方・考え方のどの視点を働かせればよいのかを明確にし、実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力が育成されるよう配慮されている。 ・主体的な学びや対話的な学びにつながる活動が、どの題材にも明確な指示とともに掲載され、児童の思考力・判断力・表現力が育成されるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの視点を四つ葉のクローバーで表し、各視点につけたマークを適所に示して、生活に係る見方・考え方を働かせ、問題解決型の学習を行うことで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力が育まれるよう配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、どの題材にも3つのステップが示され、児童の思考の流れに沿って学習を進めることができるように配慮されている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域とのつながりを考える実践を多く掲載し、身の回りの生活を見つめることで、家族や地域の一員としての意識を高め、家庭や地域をよりよくしていこうとする実践的な態度を育てる内容となっている。 ・キャリア教育に対応し、コラム「プロに聞く」を随所に取り入れ、社会人としての思いや願いを伝えることで、仕事や生活への関心が高まるように工夫されている。 ・日本の伝統的な生活に関わる資料を随所に紹介し、学びと関連させることで伝統文化への親しみや豊かさを感じ、継承することの大切さ、新たな文化の創造に対する意識や意欲を高められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の児童や高齢者等、異なる世代の人々との触れ合いに関する実践例を複数取り上げ、家族や地域の一員としての自覚や実践力を高める内容となっている。 ・「～にかかわる人」として職業につながる事例を紹介し、仕事に対する苦労や努力、メッセージを掲載することで、社会や家庭生活への関心が高まるように工夫されている。 ・伝統文化の事例が豊富な写真で紹介されており、日本独自の文化と先人の知恵や工夫に気づき、愛着をもつとともに日本人としての誇りを育み、継承を意識づける工夫がされている。
3 内容	(1) 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材において生活への関心や知的好奇心を高め、主体的・対話的に学習を進めることができる内容が選ばれている。 ・消費者教育の題材では、プリペイドカードや品質表示マークなど、現代生活に対応したものが紹介されており、食品を選ぶ時のポイントや、上手な買い物の仕方など、消費者としての判断力を養うよう工夫されている。 ・地域の人々とのつながりを考える実践例や東日本大震災の復興に向けた小学生の活動を掲載し、地域の一員としての実践力を高める内容が選ばれている。 ・他教科や外国語活動との関連、各内容とのつながりや中学校へのつながりを考慮した題材や教材が適切に選ばれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材において、身近な生活から課題を発見し、主体的・対話的に学習に取り組むことができる内容が選ばれている。 ・「すずしい住まい方」の学習では、「すだれ」「よしず」「打ち水」などの写真が掲載されており、生活の中で伝承されてきたことが大切にされ、環境への配慮をもたせるための工夫がされている。 ・町内掲示板や回覧板に目を向け、「地域の関わりプロジェクト」を計画する活動や「ブラインドサッカー」の紹介などを通して、地域や障害をもつ人々との共生を考えることができるよう工夫されている。 ・外国語活動や他教科との関連、及び中学校での学習につながる題材や教材が適切に選ばれている。
	(2) 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に配慮し、日常の生活に生かせる活動例や実習例を重点的に取り上げ、児童の思いや願い、多様な個性に応じた活動ができるよう実践例が豊富に掲載されている。 ・2年間で15の題材を学ぶ構成となっており、1つの題材をじっくり、かつ効果的に学習できるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の生活経験や実態、思いに合うよう、基礎・基本から創意工夫へと広がる実習例・製作例が多数掲載されている。また、個々の技能レベルに合わせた実習を行う工夫もされている。 ・2年間で20の題材を学ぶ構成となっており、1つの題材に意欲を継続させ、集中して学習に取り組めるように配慮されている。

(3) 内容の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材で「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップの流れで学習を進めることで、児童が見通しをもって取り組み、確実に資質・能力を積み上げられる構成になっている。 ・「生活を変えるチャンス！」を5カ所に設定し、学んだことを生かし、家庭や地域でも生活をよりよくするために実践しようという意欲を高める構成になっている。 ・内容Cの「消費生活・環境」については、家庭科全体に必要な視点であるため、第4題材として、5年生の早い段階で取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全ての題材が「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」で構成されており、いつも同じ流れで学習を進めることで、児童が見通しをもって取り組み、確実に資質や能力を積み上げられる構成になっている。 ・新設された「生活の課題と実践」の事例を豊富に掲載し、課題解決に向かうためのステップを丁寧に示すことで、自分を見つめる学習からできることを増やす学習、さらに家族や地域の人との関わりを考える学習へと、児童の成長段階を追って学習ができるよう配慮されている。 ・各学年のテーマのもとに、ストーリー性を考慮して題材が配列されている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や製作実習の手順が見開きページを効果的に活用し、児童の視線に立って豊富な写真と分かりやすいイラストで詳しく解説されている。写真が大きく、大変見やすい。一人分の材料も写真で掲載されている。 ・「いつも確かめよう」は、実寸大写真に手をのせてシミュレーションを行うことができ、左利きの児童にも対応している。「いざいざ」の題材では、野菜の切り方や大きさの目安が実寸写真で示されており、初めて体験する児童にも分かりやすいように配慮されている。 ・「安全」「環境」など16種類のマークは、様々な学びとの関連を明確にしたり、視点をもちやすくしたりするのに有効である。 ・本文と資料が明確に区別できるように、罫線を使用したり背景に色をつけたりするなどの工夫がされている。 ・ページの右上に大題材番号が示されており、必要なページを見つけやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順を示す図が見開きページを効果的に活用し、豊富な資料が横流れにレイアウトされるなど、児童の視線に立って作られている。「安全マーク」が随所に鮮明に示されており、安全に対する配慮が十分にされている。 ・野菜の主な切り方の例や皮のむき方が裏表紙に写真で示されており、左利きの児童にも対応している。また、暑い季節と寒い季節の過ごし方のページが同じレイアウトで構成されており、確認や比較がしやすいように配慮されている。 ・「安全」「防災」など、8種類の精選されたマークにより、学習に取り組む視点が明確になるよう工夫されている。 ・本文では、文節が途切れないような分かち書きが意識され、重要語句は太字（ゴシック体）にするなど、読みやすくなるよう工夫されている。 ・ページの右上にQRコードが掲載されており、学習に関連したコンテンツを学校だけでなく家庭でも利用できるよう配慮されている。
5 印刷・造本等	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた色調の多色刷りで、内容ごとに色分けし、独自に開発したUD教科書体を使用するなど、ユニバーサルデザインに取り組んでいる。 ・A4判を用いることで、情報量を充実させて資料性、視覚的效果を高め、学習の流れが把握しやすい紙面になるよう工夫されている。また、軽量の専用用紙を使用することで、児童の負担軽減にも努めている。 ・表紙裏の折り込みページでは、2年間の学習の流れと課題解決の進め方を分かりやすく示すとともに、学習をふり返り中学校への円滑な接続ができるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮やかな色調の多色刷りで、カラーユニバーサルデザインを取り入れるなど、児童が読みやすいよう工夫されている。文字の大きさ・字間・行間等は適切で読みやすい。 ・再生紙を利用し、植物性のインクを使用するなど、環境への配慮がなされている。 ・表紙裏の折り込みページでは、4つの視点や家庭科学習の進め方について図や写真で具体的に示されており、課題解決に見通しをもって取り組むことができるように工夫されている。